

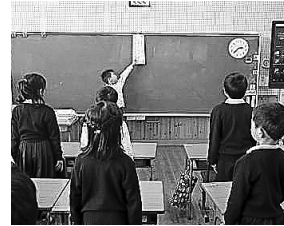


人権教育シリーズ40

問い合わせ先 人権啓発教育課 ☎(248) 2399

西合志南小学校の取り組み 朝の日めくり言葉

西合志南小学校では元気に歌を歌い、詩をみんなで読んで一日が始まります。その後、必ず行なわれるのが日めくり言葉です。20項目の日めくり言葉を作り、全校で取り組みました。「ともだちのなまえにつけよう」「ちゃん」「くん」「さん」「言わないで」「悲しくなるよ」「ちくちく言葉」「それやめて」「きちんと言葉で伝えよう」「年上の人に『です』『ます』つけて ていねい言葉」「自分から進んでしよう」「あいさつを」「聞くときは 相手の目を見て 最後まで」「嬉しいな 元気になるよ」「ふわふわ言葉」など、1日1項目、毎日声に出すことで、自然と意識の中に入っていました。どの子も「友達と仲良くしたい」「気持ち良く学校生活を送りたい」という思いを持っています。日めくり言葉を思い出し、お互いに言動に気を配る姿が見られました。

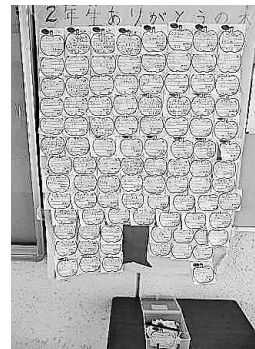


日めくり言葉の取り組み

なかよし委員会の取り組み

高学年が所属する委員会活動の中で、なかよし委員会が人権について考え活動しています。
なかよし委員会では、初めに「いじめのない西南小」「暴言のない西南小」「みんなが元気で仲がいい西南小」「みんな優しい西南小」「みんな笑顔で通える西南小」にしたいと話していました。
そして、「一人の力ではできません。明るく楽しい西南小をみんなの力でつくっていきましょう」と全校集会で呼び掛けました。なかよし委員会のさまざまな活動の中から二つ紹介します。
言葉チェック
言葉チェック期間を設定し、「呼び捨てやあだ名、ちくちく言葉や強い言葉、命令言葉などの暴言を、もし言っている人がいたら、教えてあげましょう」と昼の放送で呼び掛けました。各クラスにチェック表を配って、帰りの時間に振り返りました。
ありがとうの木
低学年、中学年、高学年の廊下3カ所にありがとうの木を作り、リンゴのカードを置きました。カードには、されて嬉しかったことや言われて嬉しかったことを書いて、木に貼ります。

授業参観で人権教育を
本市の小中学校では、夏休みに教師が集まり、部落差別をはじめあらゆる差別をなくしていくための教材について学習会を行なっています。本市の小中学生が必ず学ぶ、共通の教材があるのです。
子どもたちは教材を通して学習すること、差別を受けた人の思いを知ったり、自分たちの生活と重ねて考えたり、お互いの違いやよさに気付いたりして、それぞれの発達段階で人権について学びました。



ありがとうの木

その中からいくつかを放送で紹介しました。「さか上がりができなかったとき、背中を押してくれてありがとう」「遊ぶときとか帰るときとか、いろいろるとき、わたしに合わせてくれてありがとう」「(低学年)」「いつも勉強を教えてくれたり、いっしょに遊んでくれてありがとう」「泣いているとき、心配してくれてありがとう」「(中学年)」「いつもいっしょにいてくれてありがとう」「『大すぎだよ』と言ってくれてありがとう」「(高学年) など、心温まる言葉が集まり、子どもたちのうれしそうなお顔がたくさん見られました。



授業と人権集会

人権教育は人と人を結んでいく教育です。人権学習の時間だけでなく、生活の全ての中に学ぶ機会があります。子ども同士がつながって、いけば、その保護者も、地域の人もつながっていきます。西合志南小学校では、人権教育の目標を「差別の現実」に学び、子どもたちの豊かな未来を保障する教育の創造、差別を見抜き、差別を許さず、差別をなくすために行動する子ども」とし、日々の学習や活動に取り組んでいます。

人権擁護活動の功績をたたえて 法務大臣感謝状伝達式

4月11日、人権擁護委員として人権思想の普及高揚に長年にわたり尽力した中村十九男さんと澤田日出夫さんへ、市役所で法務大臣感謝状伝達式が行なわれました。中村さんは9年3カ月間、澤田さんは6年間、同委員を務めた功績が認められ受賞。式に出席した熊本地方法務局阿蘇大津支局の山本隆幸支局長から、「人権擁護の推進に尽力いただきありがとうございます」と感謝の言葉がありました。



人権擁護委員をはじめ伝達式に参加した皆さん

退任行政相談委員へ 総務大臣感謝状を伝達

4月12日、行政相談委員として20年間活躍した松岡爲利さん(鹿水)へ、総務大臣感謝状伝達式を行ないました。これは委嘱期間の満了をもって勇退するまでの長年の功績に対し行なわれました。

式では熊本行政評価事務所の木村隆明所長から感謝状が手渡されるとともに「長年にわたる行政相談制度の発展と地域住民からの要望や相談の解決への尽力に感謝します」と言葉が掛けられました。



左から荒木市長、松岡さん、木村所長

健やかな成長を願って 市内各小学校へ図書カードを寄贈

4月17日、一般社団法人クラッシーノこうし(クラッシーノ・マルシェ)から、市内の各小学校に図書カードの寄贈がありました。

これはクラッシーノこうしが毎年地域貢献の一環として行なっている運動で、ことしで3回目。同法人の山辺一範事業本部長は「将来を担ってくれる子どもたちが健やかに育つように役立ててください」と話しました。



山辺事業本部長(左)から図書カードを受け取る中島教育長

自己最高点で5位入賞 エアロビック世界大会

4月13日から14日にかけて、東京都でスズキワールドカップ2019第30回エアロビック世界大会が行なわれました。きょうだいで出場した川畑結愛さん(合志中2年)、光佳流さん(合志南小6年)がユース1ミックスペア部門で5位に入賞。息の合った演技が評価され自己最高点を記録しました。

2人は「悔しさは残りますが点数には満足です。これからも頑張ります」と語りました。



①堂々と演技を披露 ②左から結愛さん、光佳流さん